十四日夕刊
岩城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　岩城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
本日刊（日曜、祭日休刊）

あす平町に開かれる
縣下消防組頭大會
盛り澤山な提出事項

第十四回縣下消防組頭大會は十五日午前十時から平町第三小學校に開催されるが、提出事項左の如くである。

提示事項
一、消防精神の擴充に關する件
二、火防思想普及徹底に關する件
三、應急準備に關する件
四、災害現場に於ける活動の件
五、水利の完備に關する件

注項事項
一、組員死傷その他救濟事實報告の件
二、會議事項達並實行に關する件

協議事項
一、財團法人本縣消防協會寄附行爲制定に關する件

諮問事項
一、一道六縣消防懇談會建議事項に關する件

建議事項
一、御親閲を賜はりし消防組に對し馬廠に紀念章を附與せらるゝ樣請願の件（提出二本松協會）
二、消防講習會開催の件（同上）
三、四点信號制定に關する件（同本宮）
四、消防用水係に赤色提灯携帯方の件（同白河）
五、感謝狀三枚に付金馬廠一條に替へるの件（同川西）
六、消防組細則第八條中改正の件（同石川）
七、消防顧問並に消防醫門札掲出方の件（同南相）
八、消防徽章制定の件（同河沼）
九、愛林思想普及に關する件（同上）
十、衛生材料配給申請の件（同上）
十一、火防デー當日兒童に講話の件（同安積）
十二、消防精神涵養に關する件（同上）
十三、消防幹部に對し電氣學講習に關する件（同三春）
十四、貯水設置に對し縣補助交附の件（同保原）
十五、少年消防隊組織に關する件（同石城）
十六、消防組に關する行政諸法規を編纂し各希望者に頒布するの件（同上）
十七、消防關係法規を一括し縣協會より發行し各幹部に頒布する件（同双葉）
十八、殉職消防組員の建碑の件（同上）
十九、縣の消防表彰の改訂の件（同上）
二十、火災豫防奬勵金付規程改正の件（同信夫）
二十一、動力ポンプ設備費補助規定に關する件（同上）
二十二、興業場内火氣取締に關する件（同上）
二十三、自動車用瓦斯倫置場火氣取締に關する件（同上）
二十四、縣消防協會規則改正の件（同逢南）
二十五、山林火災に於ける信號に關する件（同上）
二十六、消防組規則根本的改正方促進の件（同猪苗代）

知事代理來賓參加し
第三校の開校式

平町立第三小學校開校式は十三日午前十一時から同校講堂に於て知事代理來賓數十名參列の上擧行され、定刻伏見平町長が學式の辭をべ、遠藤助役が工事の經過を報告した後、工事功勞者として山崎捨次郎氏に現金二百五十圓、佐藤福太郎、水野虎三郎、只野忠藏、片寄小彌太丸山慶治各氏に金盃或は銀盃を贈與して表彰した、次いで知事代理、町議總代井上茂作、その他數氏の祝辭あり、最後に赤津校長が謝辭を述べて散會した。

濱通りに多い
健康兒童

同業東京朝日新聞では全國の優良健康兒童を表彰するため、優良健康兒童採しをなしてゐたが三日午前十時から平町役場會議室で開かれ、小柳知事以下出席して審議の結果左の五名を本縣代表の健康兒と決定した、兒童氏名左の如く濱三郡で

石城郡草野小學校　猪狩正雄（十一年十一ケ月）
相馬郡原町校　塩谷正雄（十一年五ケ月）
石城郡内郷第三　小林克治（十一年九ケ月）
田村郡小野新町校　津守てる（十一年一ケ月）
相馬郡石神第一　馬場田とめ（十一年一ケ月）
石城郡玉川校　松崎喜美子（十一年八ケ月）

常磐五大炭礦で
更に出炭制限
貯炭を精細に調査し一割五分を制限する

常磐五大炭礦々長會は十一日から、十一、十二の兩日に亘り常磐炭界全山の貯炭を精細に調査を協議したが、炭礦書入れし、十三日午後一時から湯本町松泊に調査結果を持ち寄り、出炭制限の協定をなした。

あす公園松ケ岡で
協賛會の園遊會
平藝妓が總出動　踊の番組と出演者

縣下消防組大會は別項の如く十五日平町に於て開催、縣下の組頭六百余名が花の平町に集合する筈で、平町消防組では之等參集者を歡待するため協賛會を組織し、平町を紹介すべく準備中である、協議が終つて午後二時半から平町松ヶ岡公園で大園遊會を催ほすが、公園には舞臺を設け美妓三十余名の手踊あり酒間の幹旋には平町の藝妓百八名全部總出動で之に當るわけで公園松ヶ岡は本春以來の大盛況を見るであらうと察せられてゐる、當日舞臺の踊番組、出演者は左の如へである。

◎第一　屋敷娘
▲踊　品澤蝶々、玉川政榮、榮家榮、竹の家小鯉、谷口文勇、開花花丸　▲三味線　谷口秀勇、林家小秀、叶屋家小玉、久本いく子、二葉家百合葉、三島家春子、

◎第二　元祿花見踊
▲踊　仲家小清、山形家夢二、湖月豆蝶、米京小豆、三好家小太郎、野口金香、▲三味線　品澤小光、叶家小玉、谷口秀勇久、本いく子、湖月月子、林家榮太郎

◎第三　相模蜑
▲踊　玉川玉千代、久本ぼたん、橘家千代丸、若丸、山形家千歌丸、吉野家金太郎、開花貞丸、品澤三太郎　▲三味線　林家榮太郎、品澤小光、島清とん子、湖月月子、吉野家蝶松、甲子君子

新築被露
上田醫院

平町南町上田外科醫院上田耕作氏は五週年紀念の意味と病室、手術室、診療室等新築完備の披露の意味で十三日親戚知人等を招待し盛宴を張つた。

公設質屋の必要論叫ばる

平町内には數年前までは約二十軒の質屋があつたが、質屋そのものが不景氣のため相次いで廢業し、現在では僅に六軒に減少してしまつた、しかもその六軒も最近は不景氣のため質入れしたら受け出す人がなく、貸す一方では稼業にならず、六軒のうち半分は休業して居るので無産階級者には一大打撃あり、何とかして公益質庫を實現すべきであるとの聲が實際に必要な階級者からさけばれて來た。

醫師に與ふ
三雀居士

專門の教授から臨床講義其他幾十種を聽いて喜んでゐる頃の將來大學や醫專の學生は罪がなくつて可愛いゝ、白い手術着を二つの腕迄捲くつて若い看護婦に捧げさせて洗面器の桃色の昇汞水で手を洗ふことが矢鱈に嬉しがつたり、聽診器のゴム管を千切れる程引つ張り合つて噪いだりすることによつて人生が明るくなる程の喜悦感を味はつたり、みんなこの頃のことである。

□

處が愈々病院に赴任して何々部長の指揮を仰ぎ乍ら一人前の醫者としての待遇を受けけるやうになると猛烈な研究心を起して、人も二三人殺せば眼玉を潰す金、を取つて研究の材料を得るのだから、これ程狡猾なことはないやうだがそれでも吾々は彼等のひたむきなるこの研究心をこよなく尊いものとしてこれらの隱れたる犯罪を默許してゐる。

□

まあそれまではいゝ、何も言ふことはない、あつても見逃せるが、醫者が古くなると全く手のつけられないものが出來上つて了ふ、度胸ばかり糞落着いて事業を起して見たくなつたり、病院の窓から縣會議事堂の建物を戀しがつたりたまに眞面目な醫者だと思つてるとミイラみたいに干からびてゐて風邪と胃病とを誤診したり、さうかと思ふと競馬と野球通になり澄まして晴天の日には何時でも留守。

□

たまにしんみりした醫者だなぞゝ買被ると、變に猥談好きで檢徹以外の診察は木で鼻をかむやうに素ッ氣なかつたり等々質に仕末におへない、

世界一の怪力者を加へ
拳闘對柔道試合
十五日十六日平町聚樂舘で

血彈相搏壯烈を日本武士道の精りては我が武術の世界に誇るに華たる柔道と歐米武士の面目を遺憾なく發揮する闘技拳と柔道の大接戰は、來る十五、十六の兩日限り當地聚樂舘に於て白熱的に公開さる。

東京拳闘協會では斯界の權威者中谷四段、石井四段を筆頭に三段、二段の新進氣鋭の有士三十余名を以て世界的力量の所持者にして且つ拳闘界の大立物イワン、カロロフ君を闘首としてネルソン、ウヰリアム外歐米の選手保持者十數名に對抗せしむる大試合にして實に國際的武道の交渉たると共に各其の國技を發揚せる所謂武道の精華たり、殊に小兵の吾が柔道家が大力肥滿の外人拳闘家を倒すの妙味に至

一、カロロフ君の力技種目
一、三十貫五十貫の鐵亞鈴運動
一、五寸釘を平手にて三寸板に打込む事
一、体上に二百余貫を載せ頭部と足にて支へる事
一、五分厚の鐵板を腕に卷き付くる事
一、筋肉運動

尙當平町飛入柔道家　二段吉田三郎君、二段尾形良君、警察署、中學生、外有段者飛入申込數名あり。

行衛不明の養子から
自殺する旨の手紙
家人が驚いて捜索願

耶麻郡槻平村字中ノ下寅八養子江藤義壽（二二）は昨年十二月十ヲキ（十八）は郡山市日本紡績第五日午後五時頃知人の許に行くと稱して出たまゝ行衛不明となつたが、最近石城郡内郷村綴郵便局の消印ある手紙を若松市高橋某の下に送つたので、内郷村附近に居る事が判つたが、書面には自殺する旨が認めてあつたので家人は驚いて平警察署に捜索方を願ひ出でた。

縣芳賀郡水橋村酒井清從妹酒井

▲女工行衛不明

栃木

病弱酌婦に
休業命令

平町南町飲食店萬屋事加藤直三郎方から手代木マル（二一）が酌婦となるため三百六十圓を前借し平署に鑑札下附方を願ひ出でた處、同人は身体が衰弱してゐるので療養して快方に赴いた上營業に從事せしむる事になつた

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白
マルソー・ルージ・赤　¥1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

鼻の藥「チクノール」
平五山野邊藥局

△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅固
磐城無盡商會
本社磐城町
支店平町
出張所小名濱
△縣内
△至ル所ニ取扱所アリ
△何時デモ申込ヲ下サイ
△絶エズ御用ヲ辨ジマス

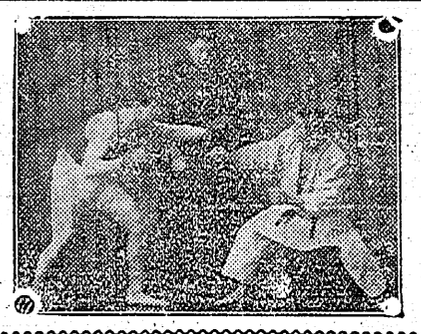
胃腸專門
內科
十二指腸虫病
松村胃腸科醫院
平町南町（電話一〇七）

梅毒專門
淋病
婦人病
皮膚病

拳闘對柔道大試合

世界的怪力者イワン・カロロフ氏出場余興として大怪力技を公開す

四月十五日十六日晝夜兩日　會場　聚樂舘



外人拳闘家
日本拳闘家
當地飛入
柔道家
十數名出場

入場料
壹等　七十錢
貳等　五十錢
學生　三十錢
婦人小人　二十五錢

主催　東京拳闘協會
後援　磐城青年會　磐城有段者會　平磐城新聞社

拳闘家

外五名
カロロフ君　ネルソン君　ウイリアム君　チヤール君　ジヨンソン君　ダニー君　バツチ君　ガリー君　アレクリン君　チヤク君　リー君　フキ君　ナードン君　レー君　ウヘ君　キル君　ワイント君

柔道家

四段　中谷君　石井君
三段　平地君　小林君
二段　鈴木君　上野君
二段　中原君　田中君
二段　阿部君　木村君
二段　西田君　和田君
初段　山崎君　口田君
同　谷口君　山田君

高級車グラハムページ新型
セダンが入車致しました
是非御試乘下さい
平驛前
昭和タクシー
電話三四三番

初夏　サロンの新裝
四月十日ヨリ
樽詰生ビール　並にタンクのソーダ水の用意が出來ました
ソーダファンテン設備完成
カップ一杯……十五錢
ジョッキ一杯……五十錢
ドーゾ散歩がてら御來店を……
田町松月堂隣り
サロン

美味で評判の
きもちよい
男女給仕人數名募集
電話三五二番

磐、城炭礦最優等炭
石炭　正味十貫目　一俵金六十錢
東京瓦旗コークス一等品
コークス　一俵金一圓二十錢
木炭代用　無煙、無臭、家庭用炭
玉炭　一箱貳　圓也
石炭は目方の正確を期する爲め正味十貫目を一俵の標準と定めました
配達迅速（電話二三七番）
磐城炭礦販賣總代理店
阿部石炭商店

亡母キサ送葬の際は遠路の處態々御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜り御厚志の段奉深謝候一々拜趨御禮可申上筈の處乍署儀不取敢以紙上御挨拶申上候

四月十四日　平町字鎌田町
岡田千藏
外親戚一同